

2023年3月29日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード: 3762)

C#/VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2022.2」の 販売を開始

PCI DSS 4.0 のセキュリティコンプライアンスルール対応し静的解析を強化
最新言語の C#11、フレームワークは.NET 7 に対応

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由利孝、以下「テクマトリックス」）は、米国 Parasoft Corporation（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」）が開発した C#/VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 2022.2」の販売を 2023 年 3 月 29 日より開始します。

dotTEST は、高品質な.NET アプリケーションの開発とテスト工数の大幅削減を強力にサポートする C#/VB.NET 対応静的解析・動的解析ツールです。1,000 個以上のコーディングルールをもとにソースコードを静的に解析し、プログラムの問題点やファイルを横断した処理フローに潜む検出困難なエラーを検出します。また、.NET アプリケーションの実行中のカバレッジ情報を収集し、テストの抜け漏れの確認を容易にします。開発工程に dotTEST による静的解析やカバレッジ情報収集を組み込むことにより、テストの効率化とソースコードの品質向上が期待できます。

このたびのバージョンアップでは、dotTEST の静的解析にセキュリティ関連ルールが多く追加されました。クレジットカード会員データを安全に取り扱うことを目的として策定された、クレジットカード業界のセキュリティ基準の PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) の最新バージョン (ver.4.0) や、ソフトウェアの脆弱性を識別するための脆弱性の種類 (脆弱性タイプ) の共通脆弱性タイプ一覧である CWE (Common Weakness Enumeration) の ver.4.9 や、CWE Top 25 2022 (+On The Cusp) に対応した静的解析を行うことが可能になりました。専用のダッシュボードとウィジェットを利用して dotTEST の静的解析ルール違反の結果を PCI DSS や OWASP、CWE などの基準のリスクスコアリングにマッピングすることで、各基準に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できます。

環境面では C# 10 と 11、.NET 6 と 7 のサポートを開始しました。そのほか、Visual Studio 2022 のサポートや Visual Studio Code 上でのテスト実行時のカバレッジ取得ができるようになり、ユーザビリティの向上が期待できます。

dotTEST の付属製品として、軽量モデルの「スタンドアロン ライセンスサーバー 2022.2」を新たにリリースしました。従来、ライセンスサーバーのみの用途でも Parasoft DTP に内蔵されるライセンスサーバーをご利用いただいていたのですが、今後はセットアップの簡略化と軽量の動作を実現したスタンドアロン ライセンスサーバーをご利用いただけます。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題を解決する最適なツールとして、dotTEST の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

【dotTEST 2022.2 の新機能・改善点】

- **PCI DSS 4.0 や CWE 4.9、CWE Top 25 2022** といったセキュリティコンプライアンスルールが追加
セキュリティ関連を中心に静的解析のルールが追加されました。クレジットカード業界の情報セキュリティ基準である PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) の最新バージョン (ver.4.0) や、共通脆弱性タイプ一覧 CWE (Common Weakness Enumeration) の ver.4.9、CWE Top 25 2022 などを含む、16 種類のセキュリティコンプライアンスに対応しています。

【dotTEST のセキュリティコンプライアンスルール】

- ・ CWE 4.9
- ・ CWE Top 25 2022
- ・ CWE Top 25 2021
- ・ CWE Top 25 + On the Cusp 2022
- ・ CWE Top 25 + On the Cusp 2021
- ・ DISA-ASD-STIG
- ・ HIPAA
- ・ Microsoft Secure Coding Guidelines
- ・ OWASP API Security Top 10-2019
- ・ OWASP Top 10-2021
- ・ OWASP Top 10-2017
- ・ PCI DSS 4.0
- ・ PCI DSS 3.2
- ・ Security Assessment
- ・ UL 2900
- ・ VVSG 2.0

セキュリティコンプライアンスの遵守を促進する「セキュリティコンプライアンスパック」の静的解析ルールを用いてプログラムを解析しルール違反を検出することにより、C#やVB.NETでの開発におけるセキュアコーディングの推進を強力にサポートします。また、解析結果から生成されるコンプライアンスの遵守/逸脱レポートをリアルタイムで参照できます。

※セキュリティコンプライアンスルールによる静的解析および遵守/逸脱レポートの参照には「セキュリティコンプライアンスパック」のライセンス（有償）が必要です。

- **C# 10 と 11、.NET 6 と 7 のサポートを開始**

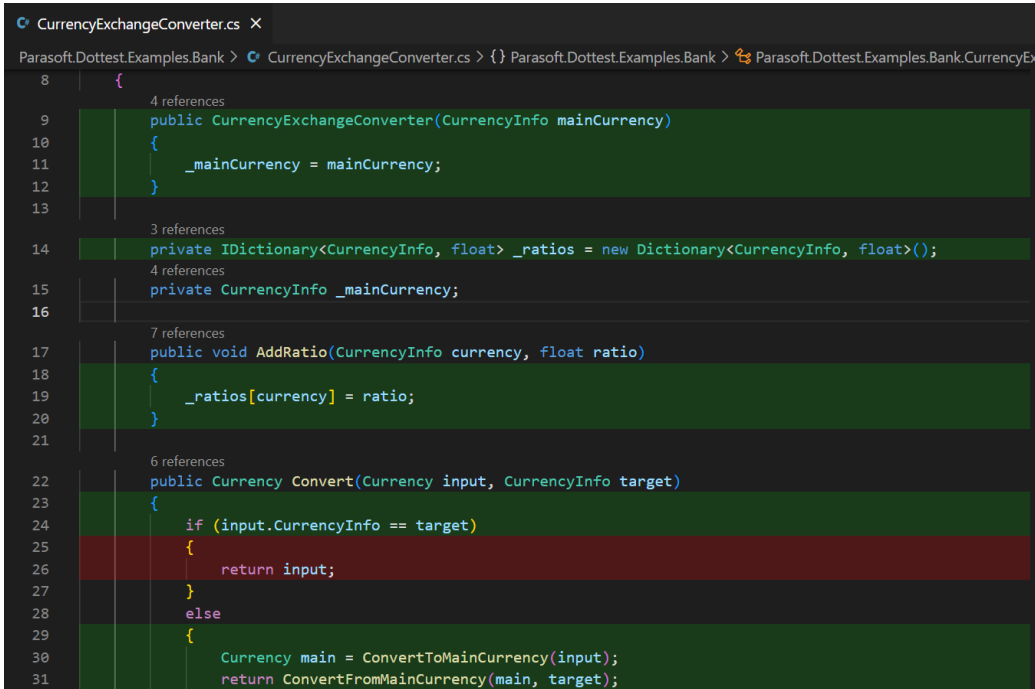
C# 10 と 11 で書かれたコードの解析がサポートされました。また、サポート対象のフレームワークに.NET 6 と 7 が追加されました。

- **Visual Studio 2022 のサポートを開始**

サポート対象 IDE に Visual Studio 2022 が追加されました。

- **Visual Studio Code プラグイン機能でコードカバレッジの視覚化のサポートを開始**

Visual Studio Code 上でコードカバレッジの網羅状況を確認できるようになりました。実行された行は緑色で、実行されなかった行は赤色のマーカーで示されます。



```
8 {
9     4 references
10    public CurrencyExchangeConverter(CurrencyInfo mainCurrency)
11    {
12        _mainCurrency = mainCurrency;
13    }
14
15    3 references
16    private IDictionary<CurrencyInfo, float> _ratios = new Dictionary<CurrencyInfo, float>();
17
18    4 references
19    private CurrencyInfo _mainCurrency;
20
21
22    7 references
23    public void AddRatio(CurrencyInfo currency, float ratio)
24    {
25        _ratios[currency] = ratio;
26    }
27
28    6 references
29    public Currency Convert(Currency input, CurrencyInfo target)
30    {
31        if (input.CurrencyInfo == target)
32        {
33            return input;
34        }
35        else
36        {
37            Currency main = ConvertToMainCurrency(input);
38            return ConvertFromMainCurrency(main, target);
39        }
40    }
41 }
```

図 1 : Visual Studio Code のカバレッジ視覚化イメージ

【Parasoft DTP 2022.2 およびライセンスサーバーの新機能・改善点】

- PostgreSQL データベースのサポート

従来から対応していた MySQL、Oracle データベースに加え、オープンソースのデータベースである PostgreSQL をサポートしました。Parasoft DTP を導入するにあたり、インストール可能なデータベースの選択肢が広がりました。

- スタンドアロン ライセンスサーバーのリリース

dotTEST の付属製品として、軽量モデルの「スタンドアロン ライセンスサーバー 2022.2」を新たにリリースしました。インストールウィザード（Windows の場合）やインストールスクリプト（Linux の場合）の実行ではなく、zip 展開によるインストールが可能です。

Parasoft DTP とともに使用する場合、ライセンスサーバーは Parasoft DTP に内蔵されるライセンスサーバーを利用できます。ライセンスサーバーのみの用途においては、軽量なスタンドアロン ライセンスサーバーでライセンス管理をできるようになりました。

- コンプライアンスの遵守を促進するパッケージの更新

PCI DSS 4.0 や CWE 4.9 がサポートされました。セキュリティコンプライアンスレポートは、全部で 8 種類のレポート表示と出力ができます。

コンプライアンスパッケージを導入することにより、dotTEST による静的解析の結果から PCI DSS や、UL2900 に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになります。ガイドラインの遵守状況の説明責任を果たすことが容易になるだけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、欠陥のあるソフトウェアに関連するビジネスリスクを排除することが可能になります。また、チームが最大限に効率的に作業できるよう、違反をナビゲートし優先度を設定するための合理的なワークフローを提供します。

※セキュリティコンプライアンス関連機能の使用には専用のライセンス（有償）が必要です。

【Parasoft DTP のセキュリティコンプライアンスレポート】

- CWE4.9
- CWE Top 25 2022
- CWE Top 25 2022 + On the Cusp
- OWASP Top 10 2017
- OWASP Top 10 2021
- OWASP API Top 10 2019
- PCI DSS4.0
- UL 2900

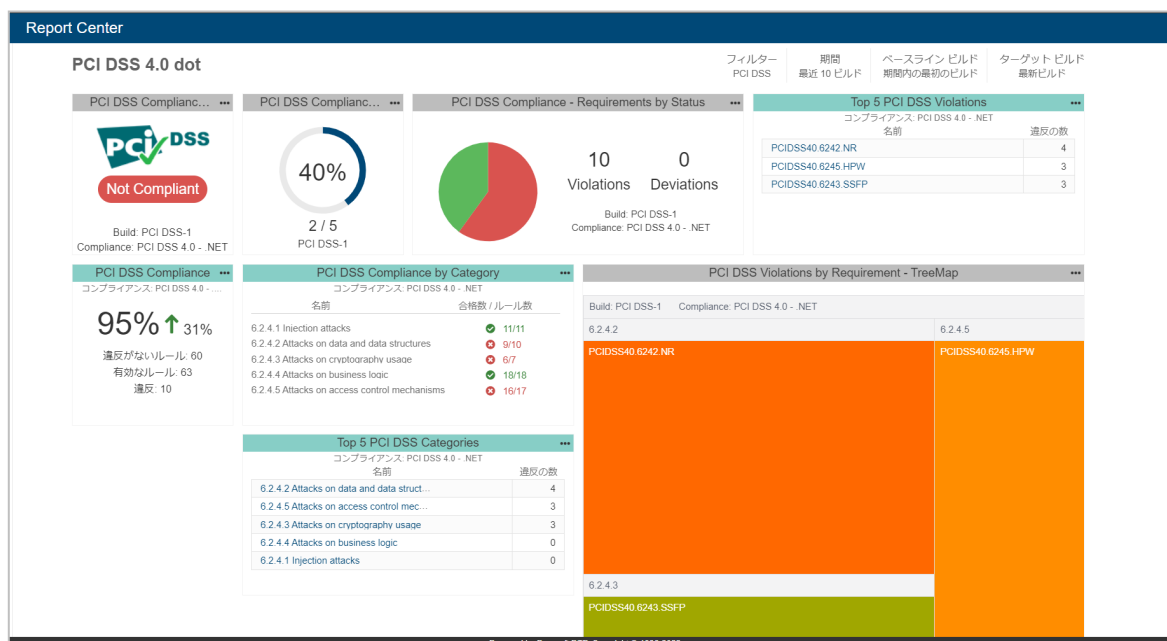


図 2 : PCI DSS 用ダッシュボード

製品の詳細につきましては [web ページ](https://www.techmatrix.co.jp/product/dottest/)をご確認ください。

dotTEST の URL : [https:// www.techmatrix.co.jp/product/dottest/](https://www.techmatrix.co.jp/product/dottest/)

- 販売開始日
2023 年 3 月 29 日
- 出荷開始日
2023 年 3 月 29 日

2023 年 3 月 29 日において、保守サービスをご契約いただいている dotTEST ユーザー様には、「dotTEST 2022.2」バージョンアップ製品を、無償でご提供します。

■Parasoft Corporation についてについて

Parasoft 社は、30 年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の 30 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。詳細は Web サイト：<https://www.parasoft.com/> をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社 について

テクマトリックス（東証プライム：3762）は、最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」、患者と医師、家族と地域社会を結ぶ医療環境づくりを目指す「医療システム事業」、蓄積されたノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」の 3 事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。

<本件に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社

ソフトウェアエンジニアリング事業部 Parasoft dotTEST 担当

E-mail：parasoft-info@techmatrix.co.jp

TEL：03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。